

睡眠時無呼吸検査(簡易検査)

なにがわかるの？

「いびきがうるさい」「いびきが途中で止まって呼吸していない」と指摘される方は睡眠時無呼吸症候群の可能性がります。眠りが浅く十分な睡眠がとれないため、熟睡感がなく疲れが残ってしまい、日中の眠気や、集中力、記憶力、判断力の低下を招きます。これを放置すると、高血圧や不整脈、狭心症、心筋梗塞、脳硬塞といった死につながりやすい疾患と合併する確率が高くなります

検査により、寝ている間に呼吸が止まっているか。止まっている場合、どのくらいの時間、頻度で呼吸が止まっているか、血中の酸素量がどの程度低下しているのかを調べます。

おねがい

検査当日に機械の装着方法をご説明します。
また、その際問診表をお渡しします。ご自宅で記入してきてください。
検査翌日は午前中早いうちに機械の返却をおねがいします。問診表も一緒にお持ちください。

どんなことをするの？

無呼吸の程度を調べるために、機械を持ち帰り自宅で睡眠時無呼吸モニター検査を行います。小さな器械を体につけて、ご自宅でいつものように寝るだけの簡単な検査です

